

黒三野志第

付、好色重宝記・好色姥桜

元禄好色草子集 III

黒之野志

付、好色重宝記・好色姥桜

平成十年三月二十日印刷発行

非売品

編 者 吉 田 幸

發 行 者 吉 田 幸

印 刷 者 白 橋 印 刷

製 本 者 共 伸

發行所

114

0024

東京都北区西ヶ原

三ノ三四ノ一二

振替口座〇三(三九一〇)二七一七  
電話〇〇一九〇一九一一四五九七番

古 典 文 庫 舍 所

黑毛詩草  
壹

Dd  
1940



色里三所世帶

母之口

卷上

京

目錄



一

戀小國を如猶撲

あうづぐのまく徳みわびの男  
忍みく脅ひのたれり

二

戀小國を女涼見

恋がく男のまく涼みの女  
ひタぐのまく涼みの女

三

鳥に焼火を女行水  
於鶴乃塔たまひことのうかひ  
男や女くわゆう立名の

四

鳥に種を女節鳥を

鳥一級あられふる象源  
足せきき地男より野郎

五

鳥に遠ひを女承氣

今種人内うれぬめの娘の世事  
あれや男活内形さ

年中せぬあふれど付く何がよきあふれど  
 犯ぬ素月あらわゆるすまほのいはゆるふる  
 頭乃背つあり帝作とくと美女の名本あひ  
 まし龍よりす後とぞりとぞりおれ東山  
 墓碑にあむまむせぬ一とぞりの思ひあゆる  
 かし人里若らうそれを佛のたとへひれの様と  
 えひゆゑやけく奇の風物ゆきとくせん  
 人づくわざいひおなじて入へるゆきとくせん  
 通海奉きふれをあめんとく外在とくあひな  
 ぐくまつわやくまを肩とくとくとくとくとく

其入がく國と廣く山並木ふ時代の至間跡六二人  
内外男とりふもあく徳ゆのほくをもが女のあれ  
あり。二十回人えれりのまふらうき我まおる極ふ  
玉城乃ちひ出づれ難ことづひるゆかく又よしむに爲  
ぞく。それがたるみ后十二人徳彼かせべの整女ふま  
ふ三人のも女徳士ふ三人の感焉わうて極まり。げ外元  
人へ一人の妻と宮くみ徳乃終なまく。徳をはゆ  
めり。あんぞ仕合より。つねぬあ前中あれしごとく。金  
かく。而ちもひと努く。あく民衆と雅波ふ民の電乃  
三而世常とかまく。まく。情やけわざりのさん  
じりとも追付思ひ。ほくゆ。どうのや外よりかく

小をすまねあら山のほんあり木なれしげ  
魚りくいなかつのありに無むきよ失思のれ  
もあく身魚尔歎もくわくわく秋のそぞめあて  
さとせしとくよかうくらは唐鹿ふるむねくらしき  
われぬよ生まきだ傷小小ぬさんねとあべが香川  
内ちよと麻どあつむくよせ。美女よ男力ともあ  
絶えぬべまづの下者どよせばやね。毛裸あく  
西ひづの方顔よたゞへ顛ひきくあく人のよき  
がきりあく意中よかくざくかりよじけすす  
まうひきりあらわらか無う合ひく。繩つねう  
らくくのゆくづくさうの面影そよどと



三ウ

- 8 -

试读结束：需要全本请在线购买：[www.er...](http://www.er...)



四才

あくをもとめの力算。折つて男を洗めてひかけ  
まわらんことをや。そひの方へ圓みちと盤の  
おさんと年才一十九がくとあびくおうてて  
あれをもゆ。圓編小ゑもん。小高見りとく。首  
筋自慢されりつらふ。体の十七小さん。二ほ月  
のおはや。それのむ丹楊きの高ね。後帝のお  
急よよきのがま。被中のう清琴のねおね。おも  
とからう思ひあめべづかのすらりた圓みどりのあ  
乃あひ。ま年才一十九がく。二十三がくれり。お  
れれおもてげけ。おどり出れ。圓編ふ損のり  
白雲毛の徳をもるのあり。もふ柳あづく梅

やうりのあはる男かくまわ、お傍様はあらのあはる君かく  
わら花わらのあらん物のばのお圓、片付をとて十八の  
外ふまとわらが、女力をへどく男とあげゆるとゆ  
さり。まもまみたがひかせ中立合のすの、まとまひ行  
司の見あらん猪角のじゆき、小分られ房付因  
ふゑ圓とくまもまえ、アヒトモ傍流ふゆるより  
おもまみゆくめ、こゑくらひゆきへ長枕物などや  
じふねり。まくはのむかひあらんが、如東あらま  
捕れり。まくはのむかひあらんが、如東あらま  
内ひひり。まくはのむかひあらま  
うもう今月は在し乃ま居やあり

## 燕子風來水涼

時雨の音はひよりああやうだも。まあにのみ  
中橋戸の風お行入らぬ。外よりかづく寝鳥と  
耳ひき。き續く。今宵色も正月の宿  
まればはよのひき。ひきの宿。十九人。同  
じ花ふき。花ふき。花ふき。花ふき。  
く興と。も種れ。中へせめぐらの宿  
出男あらぬ。後ふへてねまゆの宿。ひと  
が作の大木。あけと。あけと。あけと。  
つづり。はせ。あせ。あせ。あせ。あせ。  
く魯さん。の。の。の。の。の。の。

かりとおもひ事無せひのなまくはりとぞく  
先生あらそとあひがく。山中乃大社か  
く支ぬるれ候合の可憐。御心よりく是の  
御神氣物あり。願申申みぬ。天地震神也。  
さんある。あやひの用意。若葉のわづみ。う  
つがき。金中間三千人をそよぐ。古日めい。也  
く。御心より伏念と。且の御神氣。木下日御移  
御心より。御心より。御心より。御心より。御心  
ふす。御心より。御心より。御心より。御心より。御心  
る。御心より。御心より。御心より。御心より。御心  
乃。御心より。御心より。御心より。御心より。御心



六ウ

— 14 —

试读结束：需要全本请在线购买：[www.er...](http://www.er...)